

2月9日（火）に近鉄特急に乗車した時の備忘です。

2月12日の金曜日が、12200系の定期運行としては最終日になる事が既に分かっていたので、祝日の11日の木曜日と最終日の12日の金曜日を避けて行く日を検討し9日の火曜日を選択しました。また、今回は最後なので雨だろうと、雪だろうと（実際には途中で雪が降りましたが）行くつもりだったので天候の事は考える必要もなく気分的に楽でした。天候の事、考えなくて良いは今までにあまり体験した事がなく少し新鮮でした。

（以前に日食を見に行った時が同じ気持ち。イベントが決まっているので予定を動かさない。）

今回の緊急事態宣言のおかげで色々と制約があった。

安く行けないし（ま、gotoの利用ができないというわがままですが）、せめて近鉄全線3日間フリーきっぷを利用と思ったが、これも東京では店舗が開いていないので買えない。このフリーきっぷはかなり美味しいのだが、、、少し長めの距離を往復すると元が取れる。

特急券はネットで直前まで座席選択の上購入できるが、乗車券は券売機で買わなければいけないが面倒だ。急ぎの予定変更など臨機応変に対応できるのでできればフリーきっぷが欲しかった。

次に閉店時刻が早いお店があった事が痛かった。松阪駅ではお弁当を買うのが閉店間際になってしまった。列車が遅れたら購入できないところだった。この独り旅とは別だが、高速道路の、東北自動車道のサービスエリアは20時に飲食店はおろか売店も閉店になってしまうと言う所もあり、考えさせられた。幸いにも近鉄の駅構内にあるファミマは遅めの時間帯まで開いており、名古屋駅のJR側の売店も遅めの時間帯まで開いていた。

いよいよ当日を迎える。

名古屋駅発着の特急で12000系が運用に入り、かつ1日を有効に使えるのは名古屋6時50分発と7時50分発であり、東京からの日帰りでは後者しか選択できないからいつもの通り？東京駅6時00分発の東海道新幹線のぞみ号に乗車する。

のぞみ号の名古屋到着は7時34分、定刻に到着した。この先は関ヶ原の山越えで雪道という事で若干の遅れが出そうだとの案内があった。その意味では遅れが見込まれない、一番列車に乗車して正解だった。なお、正確には、品川（6時00分発）、新横浜（6時00分発）といった駅からも、それらの駅始発となる列車があるし、名古屋始発もあつたりで自分が乗った列車は名古屋出発の時点で初電から数えて8番目の列車だった。

近鉄線乗り換えに便利な号車（車両）まで乗車中に移動してなるべく早く近鉄名古屋駅に入場できるようにする。12000系が充当されている7時50分発の宇治山田行き713列車は既に4番線に入線済みだった。今回は12月20日の日曜日で入線まで時間があつたので入線の様子を動画撮影する事ができた。

713列車は12000系の復刻塗装の51編成が充当されていた。ここまでくれば特定の編成にこだわる必要はないが、最後の日にまたもや51編成と言う事は51編成が乗車回数も乗車時間も走

行距離も”最も”自分と付き合ってくれた事になる。12000系の単独運行なら嬉しいが、残念ながら伊勢側に22000系の2両編成が連結されている。逆の名古屋側に22000系の2両編成が連結されていて「モ12251」が伊勢側の先頭だと嬉しいのだが、喫煙室の位置を考慮しているのだろう。伊勢側に22000系の2両編成を連結する事で6両編成の5号車の名古屋寄り、編成の真ん中近くに喫煙室が来るが、名古屋側に22000系の2両編成を連結すると6両編成の1号車の名古屋寄り、編成の一番端に喫煙室が来るからこれを避けたいのだろう。

これから近鉄奈良まで向かい、特急にはここ名古屋から大和八木まで乗車するのだが、出札窓口がかなり並んでいたの紙の特急券購入は、津駅で乗り継ぐ形の特急券購入は諦めた。インターネットで名古屋から津までの特急券を購入し、乗車券は自動券売機で現金で購入する。今までも分かってはいたが特急券だけを購入すると紙の場合は手元に残る。なお、津駅で乗り継ぐ形の特急券を出札窓口で購入できるかは不明です。少なくともインターネットのチケットレスでは購入できません。出札窓口は前回の12月20日も混んでおり、しかも窓口が一箇所しか開いていなくてちょっと残念な気もする。

最近凝っている動画撮影の結果は以下の通り

- ・名古屋7時50分発 問題なし
- ・桑名8時6分着 問題なし
- ・四日市8時18分着 失敗、撮影しようとしたら車内チャイムが始まった。車窓からそろそろかと思っていたがやられた。四日市到着前から東の空は薄明るいもの、空には雲が目立ち薄暗いなど思っていたら何と白いモノが舞っている。雪だった。
- ・白子8時30分着 問題なし
- ・津着 8時39分着 問題なし

どうも12200系の車内チャイムや車内放送はチャイムの始めの音が小さい様に思えた。津で下車し、後続の「ひのとり」に乗り換える。

津8時45分発の大阪難波行きひのとり58列車の特急券は津駅のホームで購入した。直前の購入なので席の指定はできない。大阪難波寄りの前よりの車両が良かったが幸いにも前よりの車両の席が購入できた。8両編成の前から3番目の6号車の進行方向右側だった。80000系ひのとりのリクライニングを気兼ねなくできるシートは秀逸だと思う。ただ大量輸送が大前提の東京圏ではこのシートは無理じゃないかな。この8両編成は近々に納車された事もあり新車の匂いが残っていた。伊勢中川を過ぎて青山への登りが始まる直前に進行方向右側に保育園 or 幼稚園が見える。園児が手を振っている。自分にも、自分の子供にもあんな時があった。

大和八木は9時37分着、6号車の前よりの出口からホームに降りたら、まさに橿原線の大和西大寺方面のホームへの階段が目前にあった。ここでは乗り継ぎ時間が2分しかなく、少し心配だったが無事乗り継ぐ事ができた。多少余裕があり、もしかするとひのとり自体も少し早めに到着したのかもしれない。

大和八木 9 時 39 分発の普通列車に乗り、大和西大寺 10 時 9 分着。この普通列車はあまり印象に残っていない。次の列車の乗車まで 9 分間ある。

10 時 10 分着 10 時 13 分発で難波から奈良行き特急

4 両編成と 2 両編成の併結で 6 両編成で 22000 系か 22600 系で運用

10 時 17 分着で奈良から難波行き特急

ビスタカーの 4 両編成

が見れるはずだが、この駅は列車の発着が四方向から、四方向に向けて、あまりにも多くて何を見たか思い出せない位。京成高砂駅に似ているかもしれない。高砂と同様に車両基地もあるし。特急車両については車両基地への入線出線の回送列車もあり定期列車も含めて本当に何を見たか思いさせない。ま、トイレにも行っていたし仕方無い。

大和西大寺 10 時 18 分発近鉄奈良行きに乗車。この列車は外観が特徴ある塗装がされていたからか撮り鉄が何人かいたが、なんの列車かも分からない。せめて写真でも撮っておけば良かった。大和西大寺から奈良の間は特急列車以外は各駅に停車するようだ。次の新大宮でかなりの降車があったがこちらが街の中心地だろうか？

近鉄奈良には 10 時 24 分着。奈良から松阪への特急券購入についてホームの特急券券売機では購入できないのかを改札口の人に聞いたら特急券販売窓口へ向かってくださいとの事だった。名古屋から奈良までの乗車券を渡そうとしたら、それもそのまま特急券販売窓口まで持って行ってくださいとの事だった。特急券販売窓口は並んでいなかったが窓口氏は松阪までの連続の特急券は買えないとか最初言い出して焦ったが、最終的には乗車券込みの特急券を発券してくれた。奈良までの乗車券を出したら不思議そうな顔をしていたが、本来なら改札口で回収すべき乗車券だったからか？奈良までの乗車券は近鉄名古屋で購入済みだが、奈良から折り返す形になるので伊勢中川までは重複乗車になるから、乗車券は購入しないと当然おかしい。ホームに向かうと既に 4 番ホームに乗車予定の 10 時 40 分発京都市行き 4006 列車（12200 系の単独 39 編成）が止まっていた。落ち着いて思い出すと大和西大寺から乗車した列車は 1 番ホームに到着だった。4 番線の 12200 系の隣りには折り返し回送となる 22000 系か 22600 系の 4 両編成が 3 番線に止まっていた。12200 系の単独編成を見かけるのはこれが最後になるので久しぶりに写真撮影もしてみた。数人が撮影していたが、1 人、三脚持ちの 30 代後半位の女性がいた。趣味なんか他人に迷惑をかけなければ良いと思うけど、時代は変わったとつくづく思う。ただ、今でも男がメインの世界、女がメインの世界に異性が入るのは難しいとは思う。男側に入る女はチャホヤされてアイドルと化する傾向があり、それが嫌だということもあるが、ようは対等に扱ってくれない、女側に入る男はやましい事があるんじゃないの変態扱いの可能性が高く、また、女々しい奴と思われてということもある。再度動画を見直してみたらこの女性は 4006 列車出発直前に駆け込み乗車する形で乗ってきた。近鉄奈良 10 時 40 分発、大和西大寺 10 時 44 分着というたったの 4 分間の乗車だが 12200 系の単独編成では最後の乗車で動画を撮影する。先頭車両の運転席近くのデッキで撮影した。近鉄奈良駅は近鉄名古屋駅のような出発セレモニー？は無かった。高速走行する訳ではないので、名伊や阪伊、名阪の特急列車の様な迫力はない。平城京を横切る形で走行する。

動画撮影をしたまま大和西大寺で4006列車から降りたら大和西大寺駅での交代の運転手さんに後方から肩を叩かれて特急券をお持ちですかと聞かれた。乗車券と特急券をポケットから出す時、若干だがカメラを持つ右手が揺れてしまった。本音を言うと聞くのは止めて欲しかった。チケットレスではなく紙で購入していたので、掲示自体は直ぐにできたが、iPhoneで動画撮影していたが、iPhoneでチケットレスにしていたら動画撮影を中断しなくてはいけないところだった。この不正乗車？の疑惑をかけられて少し気が動転していた。乗り継ぎ特急券は購入できるが、大和西大寺では乗り継ぎの時間が多少あるし、あの特急列車を僅かな区間乗車する人は殆どいないだろうし、しかも撮影をしてたし、気になったのだろう。ま、それだけ”鉄”に問題児？もいるということか。ここだけはチケットレスではなく紙のチケットを購入しておいて良かった。紙なので直ぐに掲示できた。実際には乗り継ぎには27分間ある。

10時50分発京都からの奈良行き特急

ビスタカーの4両編成

10時55分発橿原神宮前からの京都行き特急

4両編成で22000系か22600系で運用

が見れるはずだがこの不正乗車？の疑惑気が動転していて殆ど覚えていない。写真も動画も撮っていないので思い出せない。

西大寺11時11分発（最初に調べた時は12400、12410、12600系だったが、実際にやってきたのは橿原神宮前側が22000系の2両編成、京都側が22600系の2両編成だった。自分は後者の進行方向右側、柱の席だった。）の橿原神宮前行き特急4019列車に乗車。着席して思ったが22600系の4両編成は車内の更新されて、2両編成は車内の更新されていないのだろうか。

大和八木11時29分着。到着直前の動画撮影開始が若干遅かった。何度も同じミスをしているわ。松阪までのビスタカーを待つ。反対側の大阪難波方面のホームを見ていたら、11時38分発難波行きひのとりが止まっており、畝傍山とのツーショットを撮影する。高架の名張方面のホームから地上の京都方面のホームを見ていたら、特急列車が停車しており、恐らく、京都行きだろう、橿原神宮前側が22000系の2両編成、京都側が22600系の2両編成だった。

バリアフリーのご時世もあり今後は車椅子対応ではない2両編成は難しいというか厳しいと思った。自分は喫煙室よりは車椅子対応を優先した方が良いと思うけど。すなわちこの列車には喫煙室はありませんの方が。喫煙室の所を車椅子対応の席に更新するとかな。喫煙は短時間なら我慢できるが自分の考えだ。

大和八木11時41分発の賢島行き特急7103列車（ビスタカー）に乗車する。進行方向右側、柱の席だった。ビスタカーもここ半年で2回目だが、音は12200系とおなじか？前回は座席指定したが今回は自動発券だった。偶然にも前回と同じく大阪難波寄りの車両だった。ビスタカーは大阪難波寄りの車両はドアが乗務員室側にしかない。その事が車内放送の案内に流れていた。前回の12月2日の水曜日は大和八木から伊勢中川、今回も大和八木から松阪、ほぼ似た区間に乗車している。前回は夜だったが今回は昼間だ。

松阪 12 時 41 分着、既に心は紀勢本線へ向かっており、松阪駅では

12 時 46 分発上本町行き特急

12400、12410、12600 系の 4 両編成

12 時 58 分発宇治山田行き特急列車

12400、12410、12600 系の 4 両編成

を見れるが既にこれから乗車する紀勢本線の方に、JR 側に心がいており記憶無し。JR 側の改札口では近鉄の奈良から松阪までの切符、乗車券と特急券をいただいた。これは結構嬉しかった。合わせて松阪から三瀬谷、滝原から松阪の乗車券を窓口で購入した。ここから先は少なくとも松阪に戻るまでは予定変更はできないはず、ので、松阪から津までの近鉄の乗車券も自動券売機で購入した。予定変更は強いて挙げれば帰路、多気駅で参宮線に乗り換えて、伊勢市へ行く位か？あわせてあら竹の閉店時刻を確認しておく。滝原駅から松阪駅まで、定刻で戻ったらギリギリあら竹のお弁当を購入できる時間がある。4 番ホームに早めに着き亀山からの鳥羽行き「925C」の到着を待つ。定刻の 12 時 59 分着だった。松阪は 13 時 03 分に出発する。

多気には 13 時 13 分に 4 番線に到着し 3 番線の多気 13 時 22 分発「331C」新宮行きに乗り換える。この新宮行き「331C」の乗客は

仕事風の男性が 3 名

ハイキング風が、男性 1 人、男女のペアひと組

他はクルマ非保持者であり、殆どが二十歳前か

と言う感じだった。

若い女性 2 人が栃原駅を降りて駐車してある自動車に向かったが 1 人は運転席のドアを開けていた。え、最初から最後までマイカーで移動ではないのか？

帰路に確認したのだが多気から栃原まで登っていたが、栃原の少し先から川添に向けて下りになる。川添からは宮川に沿う形になるので乗り越える形だろうか。

川添では 5 分間停車、多気行き普通列車「328C」と、こちら側が先着後発ですれ違ったがあまり良く覚えていない。多気駅から川添駅まで途中駅から乗車した人はいなかったと思う。

三瀬谷 13 時 57 分着。この時点では自分が乗車してきた新宮行き「331C」列車の三瀬谷駅の出発時刻は意識していなかった。三瀬谷駅は特急南紀も停車する駅だが、無人だったので、下車時に乗車券を運転手に渡す。降りたのは自分以外は高校生くらいの男性 2 人だけで、2 人ともバス停でバスを待っていた。ここで高校生が数名乗ってきた。ようやく乗客の入れ替えがあった。駅を出るには跨線橋を渡り多気方面のホームにある駅舎を通り抜けなければならない。跨線橋を通る時、乗ってきた新宮行きの信号は赤のまま、多気方面の信号が青、何か来るのか？改めて三瀬谷駅の時刻表を、自分が乗ってきた新宮行きの出発時刻を見たら 14 時 03 分になっている。この先の行程、多岐原神社、三瀬坂峠、瀧原宮の熊野古道（伊勢路）は小走りとかは無いように考えたが、できれば早めに歩き始めたい。新宮行きの発車時刻 1 分前になっても何もなければ歩き始めるかと思い、歩き始めようかとした瞬間、1 番線に列車が参りますの構内放送が流れた。やってくるのは貨物列

車かと思ったら何と計測車である「キヤ95」だった。後追いの撮影はできたが、先頭車側の撮影は不完全燃焼で終わった。ここまでの松阪からの道程、踏切近くに作業をしている人を何回か、何人か見かけたが、そういう事だったのか。また、貨物列車だと速度が遅いのもっと早くに列車が参りますの校内放送が流れるだろう。三瀬谷駅の駅舎には3名の中年女性が14時21分発名古屋行き特急南紀6号「3006D」を待っていた。この計測車を南紀と思ったか、慌てて計測車へ向かっていた。勿論違うのだが、笑。計測車「キヤ95」を見届けたのち心置きなく熊野古道（伊勢路）へ向かう。自分が乗ってきた新宮行き「331C」の出発は記憶がない。

多岐原神社への入口を示す道標の前に、多岐原神社方向へ左折したら良く分からなくなったので、たまたま見かけた地元民の男性に案内してもらった。この男性は先程、徒歩の自分を車で追い抜いた男性ではないかな。

三瀬坂峠の山道では誰も会わなかった。追い抜き追い越し、すれ違いがなし。

瀧原宮に到着し前回よりは明るい日差しで探索する。早めの時間帯と言う事で参拝客も多少は多い。平日なのに品川ナンバーの車で数人の男性がやって来てしかも御朱印までやっていた。

前は瀧原駅から瀧原宮まで旧道を往復したが今回は国道42号で瀧原駅へ向かう。国道方向に向かったら道の駅「木つつ木館」もあり、道の駅に併設してコンビニもあり、近鉄志摩線の上之郷駅が最寄りの「伊雑宮」より栄えている印象だ。

この道の駅近くで多気から三瀬谷まで乗車した列車に乗っていた男女のペア組を見かけ目があってしまいお互いに挨拶してしまった。

瀧原駅では松阪へ戻る列車に乗車するまで20分強時間を取れた。今回の行程は休憩時間とか無く、ひたすら歩く。これが限界かな。他の人や複数人で行く時はもう少し余裕を持たせた方が良さそうだ。三瀬谷駅から瀧原駅まで歩いたが途中途中の景色を見ていたら茶畑と植林が目立つ。この辺りの主要な産業かもしれない。また、多岐原神社到着前に頭上を紀勢自動車道が横断したが、三瀬谷駅近くから多岐原神社手前まで進行方向右側に紀勢自動車道を見ることができるが、この自動車道の紀勢本線に対する影響度はかなりありそうだ。

瀧原駅で16時53分発多気行き普通列車「332C」を待つ。ワンマン列車の乗り場はホームにちゃんと印字してあった。今回は間違えなかった。瀧原駅では何と1人下車があった。リュックの男性だ。乗車は自分だけ。

ここから多気駅まで途中からの乗車と下車は若い人達だけ！あと例外？で障害の男の子とお母さんが乗ってきた。乗客は

不明な男性

ネクタイの男性

50歳位の読書中の女性

が目についた。

瀧原駅の次に三瀬谷駅に停車し続いての川添駅では新宮行き普通列車「335D」とすれ違う。こ

の列車には高校生がかなり乗っていた。前は12月20日の日曜日だったから高校生はいなかったが、なるほど、この新宮行きには車掌が乗車している訳だ。

往復とも見ていたが多気駅の隣の相可駅の方が役場に近いし街も少しは栄えている。多気駅は参宮線の乗り換え駅で特急列車が停車するが利便性を考えると相可駅にも特急列車が停車した方が良くないか。

この日の日没は17時34分、まもなく多気に到着。前は真っ暗だった多気駅だが今回は少し明るい。ちなみに松阪駅到着前にほぼ真っ暗になった。

多気17時28分着、1番線に到着した。隣の2番線にやって来た伊勢市発の亀山行き普通列車「942D」に乗り換える。亀山行きは多気17時39分発、松阪17時48分着だが伊勢市発の亀山行き普通列車「942D」は定刻に松阪に到着した。

閉店間際にあら竹で1500円のお弁当を購入、記憶が確かではないが赤福は無かった、売り切れだったと思う。念を入れて500mlのビール、確かエビスだった、を購入。近鉄側のファミマでも赤福は売り切れ。ビールを購入したのは近鉄側のファミマの閉店時刻がはっきりしなかったからだ。もう一度、ここに戻ってくるのだが、戻って来た時閉店でビールの購入ができないだと嫌だったので。

松阪17時54分発、津18時18分着の列車に乗車し津へ向かう。松阪から伊勢中川までは快速運転するが伊勢中川から津は各駅に停車する。松阪と津の間は遠く見えるが特急列車でなくても24分、そんなにはかからない。特に松阪と伊勢中川は直ぐだ。

津では

18時21分発の難波行きアーバンライナー

18時24分発名古屋行きひのとり

18時27分発名古屋行きアーバンライナー

を見れるが乗車券や特急券の購入、赤福の購入可否なんかで、あっという間に時間が過ぎていく。

当初の予定から変更した。今日は12200系は3運用入るが、夕方の久居駅から伊勢中川駅への特急7815列車は、本来なら朝方6時50分に近鉄名古屋を出て伊勢志摩方面に向かう列車（編成）が当たるのだが、途中から車両交換をするため今日は12200系ではない。当初の予定では松阪→津→伊勢中川→久居→伊勢中川→名古屋の順で津から伊勢中川と久居から伊勢中川と2本の12200系乗車を予定していたが、昨日のうちに調べておいたとおり、津から伊勢中川の特急列車に松阪まで乗車し松阪から名古屋へ戻る事にした。インターネットで特急券を購入し、出札で滝原駅からの整理券、滝原駅から松阪駅までの乗車券、松阪駅から津駅までの近鉄の乗車券を渡す。改札の人は松阪からの乗車ですねとしか言わなかった。近鉄奈良駅もそうだったが厳密に乗車券を確認？しないのだろうか。ICカード、自動改札機の普及が大きいのもかもしれない以前に丸の内線の池袋駅で茗荷谷からの乗車券を紛失した事を申

告したが何も言わずに通してくれた。信用してくれたのかもだが、機械を通るから誤魔化せないと思っているのだろう。津駅ではホームのファミマも改札口近くのファミマも赤福は売り切れ。以前はホームが売り切れだったが改札口で最後の一つを購入できた。

津 18時35分発の鳥羽行き特急 1713 列車 (12200 系) に乗車する。最後の乗車となる 12200 系は予想通り 51 編成だった。今朝の名古屋 7時50分発の、自分が乗車した編成だ。朝方 6時50分に近鉄名古屋を出て伊勢志摩方面に向かう 49 編成は、名古屋 7時50分発の伊勢志摩方面の 51 編成に先行する形になるが、朝方の運用の途中で順番が入れ替わる。すなわち 49 編成が 51 編成を追いかける形になる。津駅の伊勢中川方面のホームに、22000 系の 2 両編成が伊勢側に 12200 系の 4 両編成が名古屋側に連結した形で現れた。4号車のモ 12251 をシートマップから予約してある。例によって津駅の到着出発の間は動画撮影をする。

伊勢中川駅の到着出発の間も動画撮影をする。

伊勢中川から松阪は乗車時間が短く伊勢中川到着前から松阪出発までの動画は連続撮影しても良い位だった。

松阪駅で 1713 列車を下車して動画撮影したまま出発する 12200 系を見届ける。特に感傷はなかった。12200 系は 12 日の金曜日を最後に定期運行では見れなくなるが、特急列車が全てなくなるとか、路線が廃止になるとかではない。車両こそ変われど、12200 系の特急列車は他の車両の特急列車に脈々と引き継がれていくのだから。そもそも車両自体はいつかは更改しないといけないのだし。また、12200 系とかに関係なく三重県と言うか近鉄特急に何度も乗りに行きたいとは思いう。次も今回同様に熊野古道関連だろうか、それとも斎宮だろうか、朝熊山だろうか。書いていてふと思ったが自分は今までの訪問の中で、近鉄名古屋駅の特急列車の発着の雰囲気が入っているのではと。地元の人には日常の光景なのだろうが。1時間あたり数本の特急列車が出発するが、流れる 4 通りのメロディーの醸し出す光景が好きな様だ。また、特急列車が到着してからそのまま折り返すが少なく、一旦米野駅に引き上げて折り返し出発の準備をするあたりも東京界隈のターミナル駅ではあまり見られないと言う点もあるかもしれない。米野駅が尾久駅と似ているかも。goto が再開したらまた名古屋詣？、三重県巡りをしたいと思う。近鉄のフリー切符は残念ながら 3000 円から 4200 円にアップするが。もしくは三重県エリア専門のフリー切符があったからそれにするか！12200 系の乗車にこだわらなければ何が何でも大和八木方面まで行く必要はないし、奈良県に行きたい場合は別のやり方を検討すれば良い。

松阪駅では近鉄側のファミマも開いていたので追加で 350ml のビール (スーパードライ) を購入。あわせてインターネットで名古屋までの特急券も購入した。汎用形特急車両で車椅子対応の 4 両編成の列車だったから 22000 系か 22600 系が来るはず。伊勢志摩側の 4 号車をシートマップから予約した。やって来たのは 22000 系の 5 編成だった。お、また乗れるわ、と小声を出した。この編成も縁がある。車椅子対応の汎用形特急車両をあえて選択すると 22000 系の 5 編成が当たる。12月2日は名張から大和八木の特急列車は何も意識していなかったのでもたまたま 22600 系の 4 両編成が来たが、他は自分が意識？すると必ずこの 5 編成がやってくる。午前中に名古屋から大和八木への間でもこの 5 編成とすれ違ったがその時は、確か、名古屋側だったと思うがビスタカーを連結していた。運用途中でビスタカーを解放したのだろう。

松阪 19 時 08 分発の近鉄名古屋行き特急 1812 列車に乗車する。あら竹で購入した牛肉弁当をビールとともにいただいていたら名古屋までの時間をあまり意識しなかった。

近鉄特急に乗りたいの理由として伊勢や志摩の松阪以遠に行こうが大和八木以遠に行こうが一時間半前後の乗車時間があり、乗車中は飲食を楽しめると言うのがある。地元の小田急のロマンスカーも今となっては乗車時間が短く感じる。東京だと私鉄の長距離特急列車は東武位か。

当社の予定より早めに名古屋駅に戻ってきたので新たに購入した 350ml のビール（サッポロ黒ラベル）、サンドイッチとともに、アーバンライナーの出発を 2 本見物し帰りの新幹線に乗る。近鉄名古屋駅でも JR 名古屋駅でも赤福は売り切れで、JR 側では新幹線のホームではお弁当すら完売になっていた。

新幹線の車内では近鉄名古屋駅で食べていない赤飯のおにぎりと車内販売で購入したコーヒーをいただいた。少し睡眠不足だったのか、ゲームをしてたら眠くなり、小田原定刻通過まもなく新横浜到着の車内放送で目が覚めた。この新幹線は JR 西日本仕様であった事から車内チャイムがいい日旅立ち、西へになっており、違いも味わえてなかなか良かった。

以上